

平成 3 1 年度 第 1 回学校評価委員会 議事録

会議名	平成 31 年度（2019 年度） 第 1 回学校関係者評価委員会
開催日時	平成 31 年（2019 年）6 月 6 日（木） 14:00～15:30
会 場	東京バイオテクノロジー専門学校 A42 教室
参加者	阿部隆一・川添一郎・伊藤徹哉・池田昭（欠席）・富樫嗣彦 中村道雄・小川昭久（欠席）・大谷啓一・土橋文江（欠席）・小池伸一・山岸直幸 小室真保 委員等 3 名 学校関係者 5 名 事務局 1 名（内澤淑子）
進行	<p>1. はじめに（大谷学校長）</p> <p>2. 委員紹介 昨年同様、委員の方に依頼。 池田委員が所用のため、欠席。</p> <p>3. 平成 30 年度事業報告</p> <ul style="list-style-type: none"> ・産学協同先が劇的に増えてきている。分野としては、特徴的なものが増加した。広報などに利用をしていった。 ・十分に差別化ができる就職実績を上げるために、戦略的な企業開拓と学生育成ができるようにした。 ・教育で行っている内容など学内状況の収集をし、また、広報で活用できるようにした。 ・英語（語学）について 授業では、1 年でバイオ英語を取り入れている。分野として、インターンシップでは、英語の文献を読むことから始めるが、学生が読みきるというところまでの達成が低いため、読みきるというところまでができる。を検討してみた方がよいか。英語ができなくて受験を失敗している学生も少なくない。 ・全員のレベルを上げるとはいかなくとも、語学力を身につけることによって秀でる学生もいると思うので、環境を提供していけようになるとよいかと。 ・技術面でも、培養技術が重要になってくる。 ・大学院の進学認知度が低い。実学、就職だけでなく、大学院進学認知度も広めていけるようにしたい。 <p>4. 平成 29 年度評価報告をふまえての状況報告</p> <ul style="list-style-type: none"> ・書式に記入

5. 自己点検・自己評価に基づく学校評価

別紙参照

昨年から異なる部分については赤字で記載をし、口頭で説明をした。

6. 平成 31 年度（2019 年度）行事予定報告

2019 年度入学生より学則変更をしている。GPA 対応、成績評価の変更、単位制への変更で、在校生にも対応をしている。

高校生等に分かりやすい情報として、コース名の変更もする。

DNA を遺伝子、動物バイオをバイオ医薬品、化学分析を化学にする。

・高等教育無償化の打ち出しをしていくことが必要。広報としては、大きな打ちだしになる。

・学年暦を配布。（参照）

7 月：保護者会、毒物劇物試験、3 級技能士（筆記・実技）

8 月：2 級技能士（筆記）

9 月：インターンシップスタート式、有機溶剤講習、

11 月：就職スタート式 12 月：特定化学講習、上級・中級バイオ試験

1 月：卒業研究発表（学内）

2 月：卒業研究発表（学外）、海外研修、卒業・進級判定会議

3 月：卒業式

7. その他、意見交換等

ゲノム編集などの内容を授業に取り入れていければと思っている。

2 月 5 日の卒業研究発表では、卒業生、企業の方の参加してもらえる打ちだしを考えている。

8. 次回開催予定

2020 年 2 月 5 日（水）予定